

【A部門】

ドコモも本人ミーティング！
プロジェクト

助成団体

一般社団法人日本認知症本人ワーキング
グループ



be Orange



活動の様子

| 活動内容

認知症の本人が集まって、体験していることや必要なこと、希望について本音で話しあい、よりよい暮らしや地域をいっしょにつくっていくための集まり（本人ミーティング）が各地で展開されることをめざし、地元で本人ミーティングや本人同士が集う場の取組みをすでに体験してきた本人たちが全国から集まり、話しやすい環境・場づくりの工夫、本人ミーティングで大切にしてほしいことや取りくみによって広がったこと等を話し合った。集まった声をもとに、本人ミーティングを“どこでも、楽しく、一緒に、気軽に”に行っていくことを後押しするワーキングツールを作成した。

｜ 活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

①地元で「本人ミーティング」を開いていくために、自分（本人）から動きだしてみよう、という人たちが各地で増えている。

- ・行政や専門職だのみではなく、自分が動くことの大切さ、面白さ、やりがいを感じて、生き生きと元気になる本人たちが増えた。
- ・「次に続く人たちのため、地元のため」にがんばっている本人の姿をみて、「一緒に自分もやっていきたい」と仲間に加わる人（本人）がその地域で少しずつ増えている。
- ・当事者自身が「本人ミーティングを立ち上げよう」としている姿を見た行政や包括、専門職が、その思いや力に畏かされ、認知症の人についての見方を大きく変えるきっかけとなっている。立ち上げを応援しようという人たちの輪が、それぞれの地域で広がっている。

｜活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

②先行している本人たちの智慧や情報をもとに、実際に「本人ミーティング」を始めたり、「本人ミーティング」を主宰していくための組織を設立した人たちが各地に実際に誕生。

- ・（本人）「自分もやってみればできる！」という自信を高め、他のことにも積極的になっている。（他の地域の本人）立ち上げた実際をみて、自分の地域で自分もやってみたい！という本人たちが全国各地に増えている。

- ・（地域）行政職員や包括の職員等が、「本人ミーティング」を自分たち主導でやってしまわずに、「地元の本人とともにいっしょに創っていくことが大事」と気づく人たちが増え、「集められてのミーティング」ではなく「自分たちが集まるミーティング」づくりが広がり始めている。

| 助成金の使用実績

助成額：500,000円

旅費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 210,700円

印刷費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,690円

会議費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,144円

会議室使用料・・・・・・・・・・・・・・・・ 36,072円（振込手数料含）

ワーキングツール製作費・・・・・・・・ 270,000円（委託）

合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 525,606円